

ビジョンの成果指標（KPI）に関する数値の推移について

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

指標	基準値	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(現状値)	基準値比較	前回比較	目標値	目標値比較
① 圏域の民営事業所従業者数	253,285人 (平成26年)	248,869人 (平成28年)	調査時期未到来	調査時期未到来	調査結果未公表	—	—	現状維持を目指す (令和4年)	—
② 圏域の製造品出荷額等	1,612,091百万円 (平成26年)	1,750,163百万円 (平成28年)	1,881,474百万円 (平成29年)	1,984,808百万円 (平成30年)	1,929,306百万円 (令和元年)	↑	↓	1,892,000百万円 (令和4年)	達成
③ 圏域の観光客入込数(年間)	927.7万人 (平成28年)	1,110.3万人 (平成29年)	1,054.3万人 (平成30年)	969.4万人 (令和元年度)	474.7万人 (令和2年度)	↓	↓	1,000万人 (令和4年)	未達成

(2) 高次の都市機能の集積・強化

指標	基準値	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(現状値)	基準値比較	前回比較	目標値	目標値比較
④ 鉄道駅利用客数 (1日平均)	富山駅乗車人員 19,274人 電鉄富山駅乗降人員 7,422人 (平成27年度)	富山駅乗車人員 19,231人 電鉄富山駅乗降人員 7,649人 (平成28年度)	富山駅乗車人員 19,664人 電鉄富山駅乗降人員 7,752人 (平成29年度)	富山駅乗車人員 20,173人 電鉄富山駅乗降人員 7,699人 (平成30年度)	富山駅乗車人員 19,777人 電鉄富山駅乗降人員 8,221人 (令和元年度)	↑ ↑	↓ ↑	現状維持を目指す (令和4年度)	富山駅=達成 電鉄富山駅=達成
⑤ 富山駅周辺地区の歩行者数 (1日当たり)	平日 42,624人 日曜 37,855人 (平成28年度)	平日 42,379人 日曜 36,246人 (平成29年度)	平日 32,265人 日曜 34,947人 (平成30年度)	平日 40,807人 日曜 23,528人 (令和元年度)	平日 21,128人 日曜 16,628人 (令和2年度)	↓ ↓	↓ ↓	現状維持を目指す (令和4年度)	平日=未達成 休日=未達成
⑥ 県内高校出身の県外大学生の Uターン就職率	58.4% (平成28年度)	58.2% (平成29年度)	58.4% (平成30年度)	58.0% (令和元年度)	57.9% (令和2年度)	↓	↓	60% (令和4年度)	未達成
⑦ 県内大学卒業生の県内就職率	45.8% (平成28年度)	45.6% (平成29年度)	43.5% (平成30年度)	44.8% (令和元年度)	45.8% (令和2年度)	→	↑	50% (令和4年度)	未達成

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

指標	基準値	前々回(H30年度)	前回(R元年度)	現状値(R2年度)	R3年度(現状値)	基準値比較	前回比較	目標値	目標値比較
⑧ 圏域の合計特殊出生率	1.49 (平成28年)	1.48 (平成29年)	※参考値(富山県全体) 1.55→1.52 (平成29年→30年)	※参考値(富山県全体) 1.52→1.53 (平成30年→令和元年)	※参考値(富山県全体) 1.53→1.48 (令和元年→令和2年)	—	—	上昇を目指す (令和4年)	—
⑨ 圏域人口の社会動態	971人の増加 (平成24年～28年 の5年間の合計)	※参考値 1,004人の増加 (平成28→29年)	※参考値 1,366人の増加 (平成29→30年)	※参考値 150人の増加 (平成30→令和元年)	※参考値 148人の減少 (令和元年→令和2年)	—	—	現状維持を目指す 平成30年～令和4年 の5年間の合計	—
⑩ 圏域の若年世代(20歳～39歳) 人口の総人口に対する割合	20.4% (平成28年)	20.0% (平成29年)	19.8% (平成30年)	19.6% (令和元年)	19.5% (令和2年)	↓	↓	20% (令和4年)	未達成

基準値比較	成果指標の値が上昇	↑	3項目
	成果指標の値を維持	→	1項目
	成果指標の値が低下	↓	5項目
前回比較	成果指標の値が上昇	↑	2項目
	成果指標の値が低下	↓	7項目
目標値比較	目標達成		3項目
	目標達成に至らない		6項目

【資料説明】

基準値との比較で、5項目において指標の値が低下しているが、③圏域の観光客入込数、⑤富山駅周辺地区の歩行者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によるところが大きく、指標の値の改善及び目標達成は困難であると考え、アフターコロナの対応も含め取組みを推進していく必要がある。